

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/index.htm>

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地の皆様の安全と一日も早い復興を心からお祈りしております。
対馬野生生物保護センター一同

「ネコ走り」を利用する
ツシマヤマネコ



ヤマネコの事故、 続く...

2011 春号
NO. 52



死亡したツシマヤマネコ
(峰町大久保)

ヤマネコの交通事故と 交通事故対策への取り組み

平成一三年三月二三日、峰町大久保で、交通事故で死亡したツシマヤマネコを収容しました。このヤマネコは雌の成獣で、一頭の胎児を妊娠していました。今回の事故で、平成四年以降の交通事故発生件数は累計で五六件（うち死亡四九頭）となりました。また、妊娠中のヤマネコが交通事故により死亡したのは、平成一八年三月に上対馬町で二頭の胎児を妊娠していたヤマネコに続き二頭目となり、大変残念な結果となりました。

このように、健全なヤマネコも被害に遭う交通事故は、ヤマネコの深刻な減少要因の一つです。そこで、センターでは、ツシマヤマネコ応援団と協働し、カルバートに動物の移動用足場「ネコ走り」を設置しました。その後の利用状況を調査した結果、ヤマネコをはじめとする野生動物の利用を確認することができました。「ネコ走り」の設置はヤマネコの交通事故を未然に防ぎ、事故を減少させる有効な手段の一つであることが分かりました。

ただし、これらの対策でも完全にヤマネコの道路の利用を防ぐことはできません。道路の上に出てきてしまったヤマネコを守ることもできるのは、ドライバーの皆さまだけです。センターでは今後、事故発生箇所における交通事故防止看板の設置や、チラシ等の配布などを通して、交通事故防止の普及啓発を進めていきたいと思っています。ドライバーの皆さま、安全運転へのご協力をお願いいたします。

センター用語

カルバート・・・道路下にある排水用のコンクリート管。移動経路として野生動物にも利用されている。

やまねこ News

ヤマネコの亜成獣 保護↓野生復帰しました

平成二十三年一月二十三日、十六時半頃に峰町志多賀の林道で衰弱しているツシマヤマネコを、峰町在住の児玉惣一さんが保護しました。二十四日朝に峰地域活性化センターに運ばれ、センター職員が保護・収容しました。児玉さんによると、車で林道を走行中、ヤマネコが目の前をふらふらと横切ってそばの藪に逃げ込んだので、車から降りて確認したところ、動けなくなっている小さなヤマネコを発見したそうです。

このヤマネコは雄の亜成獣で、体重は一五〇〇gとやせ気味で、血液検査の結果、FIV、FeLV（センター用語参照）ともに陰性でした。現在は、保護された時の二倍の約三〇〇gまで大きくなり、生き餌をとる訓練などをした後、四月十八日に保護された付近の山中で野生復帰しました。

このヤマネコは児玉さんに出会わなければ、ひよつとしたら山の中で命を落としていたかもしれません。児玉さん、ご協力本当にありがとうございました。



保護された亜成獣

ヤマネコ、 野生へ帰った後は…？

平成二十二年十二月五日に対馬市上対馬町古里の飲食店「ももたろう」で保護されたツシマヤマネコは、体調が順調に回復したことから、保護された付近の山中で二月十八日に野生復帰しました。復帰した後、二日ほど付近の山中にいましたが、その後移動し、現在は上対馬町の富浦付近で定着しています。このヤマネコにも首輪型の発信機を装着しており、センターでは追跡調査をしながらの状態を確認しています。

野生復帰したヤマネコの様子を確認しています。



野生復帰したヤマネコ

ヤマネコの移動軌跡 (2/18~4/14)



職員日誌⑬ 『よろしくお願ひします』

はじめまして、山中です。4月より対馬野生生物保護センターでお世話になることになりました。私は兵庫県三田市というところからやってきました。おそらく、三田市を知っておられる方は少ないと思います。読んで字のごとく、田んぼがたくさんある田舎で育ちました。そのときは稲がどんどん大きくなって行く姿で季節を感じていました。私の家からセンターまでの間にも田んぼが多くあり、毎日それを見ながら通勤ができそうなのでとってもうれしい気持ちと、どこか懐かしさを覚えています。センターでは交通事故対策の仕事をしていただくことになりました。ぜひ、みなさんも安全運転で、1頭でも多く対馬の宝を残せるようご協力いただければと思います。まだまだ、対馬のこと、ヤマネコのごことは勉強不足ですが、これからどんどん勉強して吸収していきたいと思しますので、温かく見守ってください。また、どこかで見かけたら是非声をかけてくださいね。

アクティブ
レンジャー：山中
(出身地：兵庫県)



センターでは主に、交通事故対策などを担当します!!スポーツはラグビーが好きです♪

第7回ヤマネコ・クイズ!のこたえ

答え. ネズミ (ヤマネコの大好物は何でしょう?)

対馬の環 News



HPリニューアル



四月より対馬野生生物保護センターのHPがリニューアルしました。従来のHPの雰囲気を残しつつ、より見やすくなり、報告書やパンフレットデータなどの情報も充実させました。人気の職員日誌も継続していますので、新しくなったHPをよろしくお願ひします！

お気に入り登録されている方やリンクを貼っていた方、変更をお願いいたします。皆さん、ぜひご覧ください！

新HPアドレス

<http://kyushu.env.go.jp/twcc/index.htm>



新しいHPはこんな感じです！

野生復帰シンポジウム

平成二十三年一月二十三日、対馬市交流センターで「ツシマヤマネコ野生復帰シンポジウム」を開催し、約三二〇名の方にお集まりいただきました。

一人もツシマヤマネコも他の生きものも、みんな幸せに暮らす地域社会。そんな将来像を市民の方と考え、共有したいーそうした思いから、このシンポジウムは開催されました。佐渡市の高野宏一郎市長、豊岡市の中貝宗治市長より、トキ、コウノトリの野生復帰による地域活性化についてご講演いただき、対馬野生生物保護センターの水崎進介より、ツシマヤマネコの野生復帰事業の説明がなされました。その後、日本獣

命科学大学の羽山伸一准教授にコーディネーターをお願いし、佐渡市長、豊岡市長、対馬市の財部能也市長、ツシマヤマネコを守る会の山村辰美会長、環境省自然環境局の渡邊綱男局長によるパネルディスカッションが行われました。

佐渡や豊岡のように、対馬が自然と共生した島として光り輝き、いつの日か日本全国や世界に對する「人と自然との共生のモデル」となるよう、センターは、今後も地域とともに歩みたいと思ひます！



講演の様子



パネルディスカッションの様子



「お世話になりました」

退職のあいさつ
原口 壘華

3月をもちまして退職となりました。センターでの仕事は交通事故対策がメインでしたが、その他にも野生復帰させたヤマネコの追跡、森づくり、エコツアーなどを経験させていただき多くのことを学ばせていただきました。また、活動を進める中で、地元の方々、関係機関の方々、センター職員等たくさんの方に支えていただき、本当に感謝しています。ツシマヤマネコ保護の現場からは離れてしまっていますが、これからも対馬とツシマヤマネコ保護活動を応援する一員でありたいと思っています本当にありがとうございました。

対馬での生活で嬉しかったことベスト3

1. 初めてネコ走りをヤマネコが使ったとき
(あまりの嬉しさに一人カルバートの中で「ヤマネコやぁ〜」と叫んでしまいました)
2. 地元の方に温かく接していただいたこと
(本当に嬉しかったです。ありがとうございました。)
3. 大水で畑が流され、もうダメだろうと思ひながら植え直したミニトマトがたわわに実ったこと
(トマトは水分を与えすぎるとダメだと聞いていたので、諦めていましたが…植物は強いです！)



どんぐりの苗づくり



交通事故看板設置の様子

センター用語

FIV…ネコ免疫不全ウイルス、FeLV…ネコ白血病

→どちらもイエネコ由来の病気。



センター News

とらやまの森

No 52

2011

春号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

イベント報告&情報

—自然ふれあいイベント報告—

1/23 アニマル・トラッキング

棹崎公園で動物の痕跡を探す「アニマル・トラッキング」を開催しました。気持ちの良い青空の下、テンヤマネコの糞やシカの食痕等、様々な動物の痕跡を見つけることが出来ました♪



ヤマネコの糞発見!!

2/20 木エクラフト教室

舟志の森自然学校で木エクラフト教室を開催しました。講師の古藤定さんの指導の下、対馬のヒノキを使ったなべしき、ストラップ、キーホルダー等、素敵な作品が完成しました☆



達人の手元に釘づけ...

—総合学習報告—

総合的な学習の時間などを利用し、久原小学校、佐護小学校の生徒さんがセンターに勉強に来てくれました!!

ツシマヤマネコの生態やヤマネコに迫る危機などを学び、ツシマヤマネコを大切に思う気持ちを新たにしてくれたのではないのでしょうか。

久原小学校 (3/4)



佐護小学校 (3/23)



—ツシマヤマネコを活用した学習のご案内—



ネイチャーゲーム

対馬野生生物保護センターでは、ツシマヤマネコや対馬の自然を身近に感じてもらう為の環境学習プログラムを用意しています。主な対象は小中高等学校ですが、学校以外の団体も受け入れておりますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください!今年度も沢山の皆さんとお会いできることを楽しみにしております♪



ヤマネコ生態レクチャー

お問合せ・お申込み先: 0920-84-5577 (IP電話: 384-5577)

対馬野生生物保護センター 普及啓発担当 (一條・杉山)



ヤマネコ教室



交通事故レクチャー



糞分析体験



出張ヤマネコ教室

☆イベント案内☆

5月15日(日) 春の植物観察～御岳散策～

上島一の山、御岳を講師の國分先生と楽しく歩きます♪

時間: 10:00～15:00

集合場所: 御岳公園



6月12日(日) あじさい祭りdeクイズラリー

クイズに答えて豪華景品ゲット☆センター見学ツアーも開催予定♪

時間: 10:00～16:00

集合場所: 湊浜シーランドステージ



御岳散策は保険料として100円頂きます(要予約)。お申込・お問合せは担当: 一條・杉山まで!

編集後記

今回の震災で、今まで当たり前だと思っていた近しい人たちの存在の大切さ、ありがたさを強く感じました。

23年度は今まで以上に人との繋がりを大切にしながら活動していきたいです。本年度もよろしくお願いいたします☆



もの生べ田方 い惧リで ガのる水蟹
な貴きてんも見ま種ス、対エ主涼場
つ重物くぼ多たすにト環馬のエルがしての
てな。れのい目。指で境の固有ツツげ夜頃、節
い食ヤる害でが定準省のす。マ鳴聞鳥季
まベマ大虫す苦さ絶レ有ツ有アきこ内「
す。物ネ事をが手れ滅ッ有アアきこ内「
。にコな食、な て危ド種力声えの啓

『ツシマアマガエル』今日の一枚

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。